

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度第6回牧区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ○報告事項（公開）

(1)牧湯の里深山荘における市及び指定管理者の収支状況、指定管理の更新方針について

(2)「上越市過疎地域持続的発展計画（案）について」の答申に対する回答について

(3)「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について

### ○自主的審議事項（公開）

(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

## 3 開催日時

令和3年10月19日（火）午後6時30分から午後8時30分まで

## 4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、池田幸弘、井上光廣、小黒誠、折笠忠一、佐藤祐子、清水薫、高澤富士雄、難波一仁、横尾哲郎

・施設経営管理室：青柳副室長、杉山主事

・行政改革推進課：星野参事

・事務局：牧区総合事務所 山岸所長、隠田次長、飯田グループ長、藤井班長、田中主事（以下、グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容（要旨）

【隠田次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

- ・挨拶。
- ・所長に挨拶を求める。

【山岸所長】

- ・挨拶。

【西山会長】

- ・会議録の確認：佐藤委員に依頼。
- ・本日の報告事項である(1)牧湯の里深山荘における市及び指定管理者の収支状況、指定管理の更新方針について、施設経営管理室・行政改革推進課に説明を求める。

【青柳副室長】

- ・本日は配布した資料を基に牧湯の里深山荘の令和2年度の状況、指定管理者の収支状況について説明し、その後、現時点での次年度以降の指定管理更新の方針を説明させていただく。最後に、行政改革推進課の方から今後の施設の方向性の考え方や進め方について説明させていただくのでよろしく願います。

【杉山主事】

—資料No. 1に基づき説明—

- ・資料はないが、この冬の運営について報告させていただく。令和3年度についても依然としてコロナ渦による厳しい経営状況になり、現在指定管理者とも協議を行っているが、冬の期間については平日の休館による経費削減の取組を検討しているところである。また詳細が決まり次第この場にて報告させていただくので、ご理解の程、よろしく願います。このような厳しい状況の中ではあるが、地域の皆さんからは会合や温浴の利用等、様々な場面をご利用いただき感謝申し上げます。今後も安全に利用いただくために感染防止対策を徹底し、より良いサービスが徹底できるよう検討していくので、引き続き皆さんからもご協力いただくようお願いする。最後になるが、指定管理の更新の方針について報告させていただく。今年度の3月末で現在の指定管理期間が終了となる。現在更新の作業を進めているところだが、方針としては、指定管理期

間を3年とした現指定管理者との随時契約を検討している。引き続きコロナ渦が続くことも想定されるので、今後の感染状況や利用状況等を踏まえながら、利用状況に合った見直し等を柔軟に行っていきたいと考える。

**【星野参事】**

- ・引き続き、行政改革推進課より説明させていただく。私からは、深山荘の今後の施設の方向性についてどのように進めていくのかについて説明させていただきたい。ご案内のとおり、深山荘については昨年度策定した第4次の「公の施設の適正配置計画」において、引き続き協議の区分としており、今後、地域協議会の皆さんをはじめ、地域の皆さんのご意見をお聞きする中でしっかりと時間を取り、協議をした上で方向性を決めていきたいと考えている。このことについては、昨年度のこの地域協議会の中で「公の施設の適正配置計画」の説明と併せてご説明したところである。実際には、なかなか協議に入れていないのが実情だが、今後は施設の利用状況や施設の老朽化の程度、収支の状況のほか、その施設が地域においてどのような役割を担ってきたか、それぞれの地域の実情を踏まえながら皆さんの声をお聞きして方向性を決めていきたいと考えている。具体的な協議の時期や進め方については、地域の皆さんの意向を踏まえながら、進めていきたいと考えている。いずれにしても、地域の皆さん、利用者の皆さん、地域協議会の皆さんの声をお聞きし、理解と納得をいただきながら方向性を決めていきたいと考えているので、ご理解とご協力の程、お願いしたい。

**【西山会長】**

- ・今程説明のあった件について、ご意見等があれば伺いたいと思う。

**【井上委員】**

- ・今後、「公の施設の適正配置計画」で引き続き協議していくという流れの中、区と協議するとのことだが、協議の場は地域協議会だけなのか。それとも他に資料やアンケート、あるいは町内会とのやりとり等を想定しているのか。地域協議会のみで決めることはいかがなものかと考える。どのように地域との意見交換や今後のことについて検討をするのか。

**【星野参事】**

- ・今程説明させていただいたが、地域協議会だけではなくそれぞれの地域の町内会や、様々な利用団体の皆さんなどの意見を聞きながら進めていきたいと考えている。協議

の時期やどのようなところで意見を聞くかは地域の実情や意向を踏まえた中で決めていきたいと考えているので、そのようにご理解いただきたい。

**【西山会長】**

- ・井上委員、よろしいか。

**【井上委員】**

- ・それでは、質問を変える。これからのことなので準備はないと思うが、例えば、更なる財政支援やこの場で出た用途変更も話題となった場合、それらのことも検討の対象になり得るのか。

**【星野参事】**

- ・様々な意見があると思うが、その意見を行政側でしっかり受け止める中で、財政支援あるいは用途変更に関しては、施設を廃止した上で貸し付けや譲渡という手法もあるかと思われる。各々の意見を聞く中で検討していきたいと思う。

**【横尾委員】**

- ・「GO TO トラベル」に関して、深山荘で利用の状況はあったのか。私も区の一員として深山荘ファンクラブに加入し盛り上げる一人だと自負しているが、根強いファンはコロナ渦でも利用している人はいる。ぜひとも、前向きに進めていただければと思う。

**【青柳副室長】**

- ・「GO TO トラベル」の利用があったかどうか、本日資料を持ち合わせていないため答えることができないが、「GO TO EAT」については事業に参加していることである。実績がどの程度あったかは確認していないが、他の施設でも利用があり、そのような事業を企画すると客が入ることは実態として見受けられるので、深山荘も同様の形だと思われる。数の違いはあると思われるが、全く利用がなかったことはないと思う。今程お話にもあったが、地域にとって非常に大事な施設であることは我々も重々承知している。今後引き続き協議という中で地域の声を聞きながら、より地域の方が望むような、納得がいくような形で方針を定めていければと思うので、よろしく願います。

**【飯田副会長】**

- ・今程の説明を伺って、今の時世は来たいと思っても来れない状況だと思われる。その

中で、深山荘のような施設に関しては、やはり来客のあることが最も良いと考える。現在は指定管理施設であるが以前は市の施設であり、今後県外から視察等が来た場合等、行政として手助けがあるのかどうか。情報提供や財政面、管理面、利用者が減ったばかりではなく、そのような助けがあっても良いのではないかと個人的に考えるがいかがか。

**【青柳副室長】**

- ・合併前の町村だと、おらが村の施設ということで利用促進を図ったり、昔の役場の職員が利用することはあったと思われるが、総合事務所自体の職員も減少傾向であり、民間の飲食店を含め、合併後中々経営が成り立たない状況である。我々も機会があれば、利用したいと考えているが、昔のように官公庁中心に交流会をするような時代ではないこともある。今程お話のあったように、利用促進策として我々も色々と考えたいと思うが、まずは今のコロナ渦において、遠方から人を呼び込むことは難しく、上越市の人間が遠方に行くことも難しい時期なので、市内での需要を確保し、来ていただく中でまた新たな魅力を発見していただき、繰り返し利用していただけるような施設になればと思う。具体的な集客策を申し上げるものはないが、市としてはそのように考えている。

**【山岸所長】**

- ・深山荘は牧区総合事務所としても大切な施設と認識しており、皆さんに利用していただきたいという思いから、おおるり通信には利用状況やキャンペーンのお知らせ、併せて川上笑学館の状況等も度々掲載している。総合事務所でもコロナ渦以前は、実際に年数回の定期利用をしていた。コロナ渦が終息すればまた利用したいと考えている。

**【西山会長】**

- ・他に意見はないか。

**【清水委員】**

- ・意見ではなく質問になる。深山荘の利用者数が6割減とのことだが、他の施設の状況も同じような状況なのか。また、イベント的なことができず、地元の食材にも影響があるのではないかと思うが、そのあたりの状況を把握していれば教えていただきたい。

**【青柳副室長】**

- ・他の施設に関しても、ほぼ同様である。やはり、半減もしくは6割、場所によっては

7割減もある。立地から考えれば頑張っていたいただいている方だと私どもは捉えている。  
地元の食材というのはどういったことか。

【清水委員】

- ・お客が減ったことによって、地元の農産物の仕入れが少なくなったことについてである。

【青柳副室長】

- ・その点について、申し訳ないが私どもは把握していない。

【西山会長】

- ・他に意見が無いようなので終了し、施設経営管理室・行政改革推進課の皆様にはここで退席をしていただく。
- ・続いて、(2)「上越市過疎地域持続的発展計画（案）について」の答申に対する回答について、事務局より説明を求める。

【隠田次長】

—資料No. 2～資料No. 3に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、ご意見等があれば伺いたいと思う。

【井上委員】

- ・回答の中の言葉にこだわるようで悪いが、「市では、本計画策定後も日常的に地域の声を把握しながら」とあるが、「日常的に把握」するとは具体的にどういうことか。

【山岸所長】

- ・総合事務所が回答文を作成した訳ではないが、「絶えず」という意味合いだと考える。

【井上委員】

- ・具体的に機会を設定してということではないのか。

【山岸所長】

- ・機会を設定してということではないと思われる。

【井上委員】

- ・しかし、何かしらの方法や機会で把握しなければ、市として把握の仕様がなない。

【山岸所長】

- ・計画があり、後に事業がある。事業は、地域の皆さんの声を聞きながら進めていくも

のであり、取り組もうとする内容によっては皆さんから集まってもらう等、やり方も様々であると想定される。表現としては曖昧と思われるかもしれないが、あまり具体的に書いてしまうと、そのやり方しかなくなってしまう。私の考えで話をしているため、自治・地域振興課には「日常的に」という言葉はどうかとお話があったことは伝えさせていただく。

【小黒委員】

- ・いつでも話を聞くという意味合いではないか。例えば、個人で来ても日常的に話を受け付けるという意味合いだと思う。

【井上委員】

- ・では、そのように捉えることとする。

【西山会長】

- ・他に意見が無いようなので終了し、(3)「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について、事務局より説明を求める。

【藤井班長】

—資料No. 4に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、ご意見等があれば伺いたいと思う。
- ・選挙が行われるが、市長が代わることにより地域協議会の実態も変わるのか。

【小黒委員】

- ・予想されると思う。系統の市長にならない限りは、地域活動支援事業の補助金も全くなくなる状況も想定される。

【難波委員】

- ・しかし、地域自治区は法に記載されているため、なくなるのではないかと。

【西山会長】

- ・13区について、活性化させようという雰囲気があるため、このような形が続くのではと個人的に思う。

【難波委員】

- ・地域協議会と市の関係で、地域協議会の役割は市長の諮問機関であり、市町村が市議会に提案するために地域の意見を聞くことだと認識している。今回の9月議会で市長

の意見と地域協議会の意見が異なり、その際の取り扱いについて話題になった。地域協議会の考えを無理に押し通すかどうかは別として、質問があったとのことなので、お分かりであれば教えていただきたい。

**【山岸所長】**

- ・ 9月議会で請願書の提出があった。地域協議会が市の方針に反対した場合の運用についてルール作りが必要との内容である。結果は賛成議員少数で不採択となった。私のこれまでの経験では、地域協議会の答申の結果を受け市が当初の考えを変更したということもある。そのことから、市は形の上で諮問をされていて何をどう答えても通らないということではないし、市の考えに賛同いただければ、とても心強い後押しになると思われる。反対の意見があれば内容について再度熟考し、返答もしなければならない。難波委員の請願の話から少しずれたが、市と地域協議会はそのような関係だと私は思っている。

**【難波委員】**

- ・ やはりある程度意見が挙がっていかないと、先程の答申に対する回答のように、日常的に意見を挙げても結果的に通らないのであれば議論する必要がないと思ってしまう。牧区地域協議会だけでなく、他の地域協議会も感じていると思われる。市長の諮問機関として地域協議会へ意見を聞いたとのことだが、議会の一つの説明材料になっているだけではないかと感じてしまう。請願の話は、ある程度地域協議会の意見も大事にしていると思うが、そのあたりを機会があれば意見を挙げていただきたいと個人的に思う。

**【山岸所長】**

- ・ 地域協議会は住民の代表として話をいただく場だと思うので、そこで反対があれば再度考え直し、意見を踏まえて検討し直す。反映できない場合もあるが、地域協議会の意見は尊重している。

**【難波委員】**

- ・ 議員の賛成、反対により請願が通らなかったこともあるが、請願された意味は重々分かる。時間を割いて、地元の話を挙げているので、我々も本当はそのようにしていただきたい。

**【山岸所長】**

- ・議員の反対意見としては、最初からやり直すことはしなくても、必ず意見を踏まえて検討する場面があることからその必要性はない、改めて議論することはないとの意見があった。

**【難波委員】**

- ・ご一考願えればと思う。

**【西山会長】**

- ・他に意見はないか。

**【井上委員】**

- ・(2) 各地域協議会において取組の検討をお願いしたいことについて、牧区はそれぞれ満しているとのことだが、地域協議会としてスポーツ団体との意見交換会はとっても良かったと思う。さらに具体的な機会や交流を進めていくことは大事だと思った。

**【山岸所長】**

- ・(2) 各地域協議会において取組の検討をお願いしたいことの項目について牧区は既に取り組んでいると思われるが、会議の運営について要望等があれば、この場でお聞きしたい。団体との意見交換等、相對して話をすることによって感じ取れることを実感した。

**【西山会長】**

- ・他に意見が無いようなので報告事項について終了し、続いて自主的審議事項(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について、事務局に説明を求める。

**【藤井班長】**

- ・自主的審議事項である、あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について説明させていただく。前回の地域協議会で、自主的審議事項のテーマが、あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」についてに決定した。テーマの決定を受け、概要等と併せて自治・地域振興課へ報告したのでご承知おき頂ければと思う。次に前回の自主的審議事項の協議において課題で挙げられた、学校の購買に関して、その後の取組について報告させていただく。区内で文房具を取り扱っている商店について、学校へ情報提供をお願いしたところ、小学校の各学年だよりで記載していただくこととなった。これにより、保護者の方にも知っていただける機会になったと思う。また、商店も小学校で使用しているノートの規格に対応して仕入れすることを承諾し

ていただき、今回新たに対応していただいた。小さなことになるが、課題に対して解決をすることができたと思っている。これらを踏まえ、今後、自主的審議事項のテーマに基づき、どのように取り組んでいくのか協議いただきたい。

#### 【西山会長】

- ・今程事務局より説明があったが、あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」についてを自主的審議事項として、前回も様々な意見を出していただいたと思うが、まず移動手段等の交通網の問題、購買の問題、子どもたちの子育てについて大きく3つ挙げられたと思う。どのような形で行ったら良いか、皆さんの意見を聞きながら自主的審議事項を進めていきたいと思っている。移動の問題については、牧振興会と取り組んだ際、結論が出たか出ないかで終わってしまった。牧振興会で踏み込んだ話し合いをしたこともあるので、今一度牧振興会と話し合いを行うのも一つの方法だと考える。振興会の事務局と話し合いが持てれば良いと思う。それに付随して区内の買い物や、交通との問題も出てくると思うが、子育ての問題も子どもたちが移動手段がないと家で遊ぶことが多く遠方の子とも遊べないことも意見として出ている。交通の部分は難しくなかなか地域協議会だけでは解決することは難しいと考える。

#### 【池田委員】

- ・会長が言われたように、全ての問題に関わってくることだと思っている。牧振興会の方で、取り組まれたことも承知しているので、問題点等も把握されていると思う。進めるにあたって一つの方法だと考える。

#### 【井上委員】

- ・移動手段も車を持っている人と持っていない人、勤め先が遠くにある人と近くにある人等、その人の状況によって違う。不便を感じている人がどのような解決策があれば良くなるか、これから考えていく必要があると思う。有効なことがあるかどうかは、皆さんで話し合っていないと難しいところもある。

#### 【小黒委員】

- ・確かに、井上委員が言われたように、今のところ車に乗れるので移動手段があり、高齢者が家にいても休日に病院へ連れていくことが可能だが、そうでない高齢者や子どもがたくさんいる。果たしてもう10年、15年経ったら牧区に住めるかどうか、雪がたくさん降る状況になれば牧区にいるかどうかもう厳しくなると考えられる。後々の

ことを考え、何か一つ形を作れば良いと思う。それは先程言われたように、牧振興会との意見交換や、行政で話を詰め、良い方向に向かえたら良いと思う。

#### 【西山会長】

- ・先日、牧振興会と話をする機会があった。その中で出てきたのは、牧振興会が主体となり社会福祉協議会が後押ししている買い物ツアーである。牧振興会で何人か募集したが思った程反応がない。小黒委員が言われたように現実に困っている人があまりいない。どうにもならないという人の意見があまり挙がってこない。よろばたの会にも募集をかけたとのことである。

#### 【佐藤委員】

- ・結局、介護認定を受けている人は、ヘルパーにお願いして買い物をしてもらっている。移動販売の利用や、子どもが上越市内や近辺にいて休日に物を買ってきてくれるので、どうしても欲しい物や食べる物がないわけではないように感じる。昔から考えると、80代、90代になっても一人暮らしを続けていて、子どもの支援やヘルパー、ケアマネが来ることで安心して暮らす方が増えている。ただ、現在は健康でも、今後健康を保てなくなった時に暮らしていけなくなるのではないかという危惧は近所の人たちを見ると伺える。そのため、牧振興会の皆さんとどんな課題があるか話もして、それから牧振興会の理事の皆さんや各部会、先程話に出たよろばたの会に来ている方々との話し合い等、手段や方法を用いて話し合いをしていくと様々な問題点や全体が見えてくるかもしれない。牧振興会から取り掛かることは、私は良いと思う。

#### 【難波委員】

- ・今回、スポーツ団体の保護者から意見を聞いて、子どもをもつ保護者が全員スポーツ団体にいるわけではないので、やはり牧振興会や他の団体等、他の角度から意見を聞くのも良いと思う。3スポーツ団体に聞いて終わりではなく、色々な角度から色々な意見を聞くのも大事な一つだと思し、牧振興会は地域の振興のためにある団体であり、牧区で抱えている問題または検討しているものがあると思うので、牧振興会を含めて色々な団体と意見交換をしながら、移手段の問題ばかりでなくても良いと思う。佐藤委員が言われたように、手はじめに牧振興会と話をするのも良いと思う。

#### 【西山会長】

- ・近くで言えば三和区は昨年路線バスが廃止され、振興会が主体となり区内をデマンド

バスが走っている。また、長野県も山間地が多いものの移動手段について取り組んでいるとのことなので、そのあたりの実態を調べることも一つの方法だと考える。それが先なのか、牧振興会との話し合いが先なのかはまた話し合わなければならない。

**【難波委員】**

- ・まだ必要に思っている人が少ないのではないかと。先程言われたように、移動販売が来たり、週に1回子どもが物を買って来てくれるのが現状であり、我々は現在動けるので良いが、この人たちが動けなくなった時、移動手段の問題が出てくると思われる。買い物ツアーについても、募集しても誰も行かないのであれば、議論する必要はあまりないと感じる。もう少し色々な人の意見を聞いた方が良く、私は思う。意見を聞いて、時期尚早なのかもしれないし、緊急を要するかもしれない。もう少し、色々な意見を聞いてみてはどうか。それからでも良いのではないかと。

**【小黒委員】**

- ・長いスパンで良い。現在は運転できる人がいて、この人たちが困る頃になると本当に深刻な状況なので、今から準備するという話で私は良いと思う。今すぐ何かしようと言っても、困っている人がたくさんいない。買い物ツアーを募集しても来ないのはそういうことである。しかし、もう少しすると困る人が多くなるので、ゆっくりでも形を作っていく、事体が深刻になった時にちょうど良くなればベストだと思う。

**【横尾委員】**

- ・子どもが夏休みにプールへ行く手段がなかなかないという意見もあった。そういった問題も含め、会長がおっしゃった牧振興会の移動手段について、意見を聞くのも一つの手段だと思う。

**【西山会長】**

- ・話すテーマを移動手段としてある程度絞って進める形でよろしいか。

**【横尾委員】**

- ・最初から地域協議会全体で出向くのではなく、会長・副会長・事務局で出向いて事前に話を聞き、それを地域協議会全体で聞くという手段もあると思う。色々な意見を伺うと、多様性や様々な切り口がある。

**【西山会長】**

- ・牧振興会で取り組んだ際は「ドアからドアへ」を基本として、どうしたら良いかとい

う議論に入っていった。

**【横尾委員】**

- ・当初予定されていた、有償ボランティアの形で移動手段に取り組む計画もあった。実際に計画は実行されなかったのか。

**【西山会長】**

- ・昔実際に行っていたことはあったが、どのような形で行ったかは誰も分からない。

**【横尾委員】**

- ・前に進めるにあたって、そのようなことに触れるのも一つの手段だと思う。一度に全て解決することはない。

**【西山会長】**

- ・移動手段について踏み込んでいくことで良いか。

**【佐藤委員】**

- ・特に話すテーマを決めず、どんなことに悩んでいるかを聞いた方が良いと思う。例えば、任期が終わって新しい理事を各地区より出してもらおう際なかなか集まらない等、牧振興会に聞けば色々な悩みがあると思う。こちらからあまり言わずに、今どんなことで困っているか、どうしたらよいか等を問いかけるやり方が良いと思う。

**【西山会長】**

- ・前回スポーツ団体の保護者と意見交換をした形で入っていくということか。牧振興会が感じていることを聞くということが良いか。

**【佐藤委員】**

- ・その方が良いと思う。そこからまた掘り出したり、色々な団体に広がっていく可能性もある。

**【難波委員】**

- ・私も話すテーマは決めない方が良いと思う。

**【小黒委員】**

- ・話すテーマを決めてしまうと、そこしか意見が出てこない。テーマを絞らない形での話し合いにした方が良いと思われる。

**【山岸所長】**

- ・スポーツ団体のお母さん方と意見交換を行い、9月7日の第5回牧区地域協議会で意

見交換会からの共通課題として、移動手段・購買・子育てジョイカードの3点に絞られたが、購買に関しては学校や商店に呼びかけをして、少しでも購買を行いやすい環境づくりのお手伝いできたところである。子育てジョイカードについては市全体のことであり、清水委員の具体的なご意見は担当課であるこども課へ伝わっている。今回偶然にも9月議会で議員の一般質問でも出ていた関係もある。この3点では移動手段が残ったが、子育て世代から出た課題ではあるものの、地域全体の課題でもあるため、そこに留まらず、牧振興会の方に広く困っていること等聞いた方が良いというそちらの方向で良いか。

**【難波委員】**

- ・私が言いたいのは保護者の方だけではなく手広く聞いてみるのが良いのではないかと。例えば、現在牧振興会と意見交換を行うこととなっているが、地域協議会が抱えている問題の一つとして公募してもなかなか集まらない等、それぞれの団体で抱えていることがある。だから、一歩下がってしまうかもしれないが、振興会にもし意見を聞くなら、それらのことを聞いた方が良いのではないかと。

**【小黒委員】**

- ・この間のスポーツ団体のお母さん方から話を聞いたのは足掛かりであった。このような意見があり、課題が3点見つかって、少しだが前に進んだ。スポーツ団体のみに意見を聞くわけではいけないので、次は牧振興会に話を聞き、また何かできたら違うところへ意見を聞き、段階を踏んで進めていけば良いと思う。地域協議会の人数だけで牧区全てのことを一度にすることはできない。

**【西山会長】**

- ・審議の仕方としては、目的をある程度絞って審議していかないと最終的にまとまらない。それもがあるので、3点の課題の中で移動手段について進めていけば、子育てや購買についても自ずと出てくるのではないかと。なので、ある程度絞って進めていくのが良いと、私は個人的に思う。

**【山岸所長】**

- ・会長以外の皆さんは、そのような意見ではないという解釈でよろしいかと。

**【小黒委員】**

- ・目的は絞らない。もちろん、西山会長が言われたことは牧振興会に対して投げかける

が、相手方もそういった問題や悩み等がある。それを地域協議会が聞く形にした方が  
良い。内容を絞ってしまうと意味のない話し合いになると考えられる。地域協議会か  
らも牧振興会からも意見が出る形が良いと思われる。もしかすると、牧振興会側が移  
動手段の問題に関して良い意見を持っているかもしれない。

【佐藤委員】

- ・牧振興会としても、まつりの中止や、昨年から今年にかけて事業関係も思ったことが  
できず、色々計画していることを休む等、鬱屈したものがあると思われるが、それで  
も牧区全体を対象としており、その中で視野は広い分野だと思うので、まず牧振興会  
から取り掛かっていくことが良いと思う。

【西山会長】

- ・地域協議会で案を出しても実際に事業を行う場合、やはりお金の問題が絡んでくる。  
受け皿としては、牧振興会あたりと話し合う必要があると思われる。また、移動手段  
の問題に絡んでくるが、実際に事業として行う場合、車やお金、運賃等、様々なもの  
が絡んでくる。

【小黒委員】

- ・お金が絡む問題は難しい。総合事務所も地域協議会もお金を持っておらず、持ってい  
るのは牧振興会のみである。だから、結局牧振興会に頼るしかしょうがない。

【佐藤委員】

- ・宿日直の廃止もあって振興会の収入源も大分減り、それぞれの事情や歴史があり一概  
に一括りにはできないがその区によって様々である。例えば、板倉区は保育園の送迎  
を振興会で行っている。

【西山会長】

- ・中郷区も、区内のスクールバスの運行を振興会で行っている。

【佐藤委員】

- ・また実際のところをお聞きするのも良いと思う。

【山岸所長】

- ・牧振興会にどのような形でお聞きするのか。

【西山会長】

- ・牧振興会との話し合いは、今言われたように、絞ったテーマではなく自由な形で接し、

その結果出てくるものをつかむ形で進めるか。

**【難波委員】**

- ・交通の問題は話として出ているわけだから、それはそれで話をすれば良い。

**【西山会長】**

- ・話としては、スポーツ団体の保護者と意見交換をしていくつかの意見を聞いたので、今度は牧振興会が悩んでいること等を検討する進め方で良いか。

**【山岸所長】**

- ・お母さん方にも、聞き取りで終わるのではなく結果をお返しするとして、いつまでに  
という思いもある中、移動手段の課題については、まずはこれまでそのことを検討し  
てきた牧振興会との話し合いを行う、そのようなつながりになると思う。

**【難波委員】**

- ・途中経過を報告すれば良い。

**【山岸所長】**

- ・先程、横尾委員が言われたように、一部の委員で意見交換をして全体に伝えるのか、  
牧振興会から来てもらい全員で聞くのか、こちらから出向くのか等のやり方を決めな  
ければならない。

**【西山会長】**

- ・牧振興会は日中が良いのかあるいは夕方が良いのか。

**【藤井班長】**

- ・牧振興会は事務局の人数が少ないので、日中に来てもらうことはできないと思う。

**【西山会長】**

- ・やはり、夕方の方が良いか。

**【小黒委員】**

- ・問題を把握している事務局の人に来てもらうのが一番良いと思う。

**【佐藤委員】**

- ・理事長と事務局で良いのではないか。

**【高澤委員】**

- ・理事長と事務局で良いと思う。一番実状を分かっているのは事務局である。

**【飯田副会長】**

・こちらから意見交換の依頼をすれば、牧振興会の方で人選していただけたらと思う。

【西山会長】

・地域協議会側はどのような形とするか。

【佐藤委員】

・牧振興会の部会も3つあるので、前回の意見交換会のように3グループに分かれてはどうか。

【西山会長】

・理事よりも部会長の方が良いと思う。

【小黒委員】

・部会長は部会のことしか考えていないと思われる。こちらから、牧振興会の意見を聞きたいと投げかけ、飯田副会長が言われたように牧振興会で人選をしてもらうのが良いのではないか。

【西山会長】

・人選に関しては牧振興会に任せるとして、こちらの体制はどうするか。全員で聞くのかあるいは少人数で聞いた上で全体に伝えるか。こちらも3、4人で出向くということが良いか。

【小黒委員】

・内々で話を聞いてもらい、それを全体で熟考する形が良いのではないか。

【難波委員】

・事務局と会長、副会長が良いのではないか。

【横尾委員】

・会長・副会長と、会長の指名で地域協議会委員からもう2人くらい出席してもらうのが良いと思う。

【西山会長】

・では、地域協議会と牧振興会どちらの事情も把握している佐藤委員にお願いしたい。

【難波委員】

・私も出席可能である。

【西山会長】

・指名して申し訳ないが、佐藤委員と難波委員にお願いしたい。では私と副会長、佐藤

委員、難波委員の4人と事務局で話を伺うこととしたい。

**【横尾委員】**

- ・話を聞けば何かしら見えてくる。そしてまた次の段階を考えれば良い。

**【山岸所長】**

- ・牧振興会からは理事長と事務局から出てもらいたいとのことだが、理事長が仕事の関係で金曜日しかお休みがない。それを踏まえた上で日程調整をして、次回の地域協議会が11月30日なので、それまでに意見交換を行う予定になる。

**【佐藤委員】**

- ・昼間であれば、午前中もしくは夜間としていただきたい。

**【山岸所長】**

- ・夜間ということであれば、金曜日は関係ない。

**【藤井班長】**

- ・それらを踏まえ、事務局で日程調整を行う。

**【折笠委員】**

- ・一つだけよろしいか。文房具の話になるが、先日移動販売に行った。移動販売の担当者に聞いたところ、文房具があり、学校に行くことについては十分可能であると乗り気であった。おそらく、学校に情報を流しても取り合ってくれないと思う。だから、先日の意見交換会時のスポーツ団体のお母さん方から文房具が買えなくて困っており、学校に来てくれる移動販売業者もいることから、学校にあげてもらえないかというようにすれば上手くいくのではないか。意見交換会の回答をお返しするという話なので、その中に含めてもらえると上手くいくのではないか。

**【小黒委員】**

- ・お母さん方が買うわけではないので無理である。子どもにお金を持たせて物を買わせることはできない。学校は了承しないと思う。お母さん方が牧区内の商店に行けるから牧区内の商店の話になったわけであり、移動販売が来ても学校で子どもにお金を使わせて買わせることは絶対でない。

**【西山会長】**

- ・逆に、移動販売が来ることをお母さん方に知らせてあげればよい。

**【小黒委員】**

- ・お母さん方がそこに行くことができれば話は別だが、平日は仕事をしているため、行くことができない。

**【藤井班長】**

- ・移動販売はシャーペンや消しゴム等一般的なものはあるが、ノートに関しては学校で使っている規格は取り扱っていない。

**【折笠委員】**

- ・様々な種類のノートがあった。学校で取りまとめてくれば、届けるとの話もあった。

**【小黒委員】**

- ・学校は、取りまとめることは絶対にしないと思う。それならば、学校に購買を作った方が早い。

**【折笠委員】**

- ・しかし、情報提供としてお母さん方に伝えることは良いのではないか。

**【藤井班長】**

- ・学校に移動販売のバスが来ることについてか。

**【山岸所長】**

- ・わざわざ学校に行かなくても総合事務所等へ巡回している際にお母さん方に来てもらえば良いのではないか。移動販売は毎月第4月曜日に牧区を回っている。学校のために月曜日以外に来てもらうことは他区も回っていることから難しい。学校に行かなくてもお母さん方が移動販売で買おうと思えば、総合事務所に来てもらえば良い。

**【折笠委員】**

- ・情報提供だけでも良いのではないか。

**【佐藤委員】**

- ・学校で使用しているノートの規格はあるのか。

**【山岸所長】**

- ・ノートに関しては学校で使用している規格はない。どちらかというとな大人向けなものである。

**【西山会長】**

- ・欲しいものを事前に頼むことはできないのか。

**【藤井班長】**

- ・頼んでも、規格に合ったノートを取り扱ってれば持ってきてくれると思うが、そもそも商品としてないと思われる。

**【山岸所長】**

- ・早い段階で校長先生から牧区内の商店で文房具を取り扱っていることを学年だよりで周知するというお話があった。学校だよりは月一回の発行だが、学年だよりは頻りに発行しているので、情報提供は既に終わっていると思われる。商店の方も対応をとっても喜ばれていた。

**【藤井班長】**

- ・話によると、どのようなノートの規格を使っているかも知らなかったとのことである。

**【小黒委員】**

- ・売れないものを仕入れたってしょうがない。そのような情報をお互いに共有すれば良いと思う。

**【西山会長】**

- ・他に意見が無いようなので自主的審議事項について終了し、続いて連絡事項について事務局に説明を求める。

**【藤井班長】**

- ・「令和2年度 地域活動支援事業事例集」の配布について
- ・「牧区地域協議会だより（第53号）」12月25日号発行について、編集担当は4班（難波委員・横尾委員）となる。
- ・次回、第7回牧区地域協議会は11月30日火曜日、午後6時からとなる。冬期間のため、開始時間が30分早まり午後6時からの開催となるのでご承知おきいただければと思う。後日案内文を送付するので、その際に出欠の報告をいただければと思う。

**【西山会長】**

- ・意見を求めるが無く、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

**【飯田副会長】**

- ・会議の閉会を宣言。

**9 問合せ先**

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：[maki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:maki-ku@city.joetsu.lg.jp)

## 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。